

平成21年度第5回英語学教育FD/IT活用研究委員会（記録）

- I. 日時 : 平成21年12月11日（火）13:30から15:30まで
- II. 場所 : 私立大学情報教育協会事務局会議室
- III. 出席者: 山本涼一委員長、田中宏明副委員長、原田康也委員、北出委員、井端事務局長、森下、恩田

IV. 検討事項

- ・資料: 1. 委員会次第
- 2. 委員会出席表
- 3. 本協会による分野別教育「学士力考察」の報告・提言について
- 4. 分野別教育における情報教育の検討について（資料①）
- 5. 英語教育のための情報活用力（案）原田委員作成（資料②）
- 6. 英語教育のための情報活用力（案）西納委員作成（資料③）

議事内容

1. 英語学における情報教育について

冒頭、学士力の考察にあたって、次のような検討を行うよう提案がなされた。

- ・教育改善のための情報通信技術の活用研究
 - ・分野別学士力を実現するための情報教育の改善研究
分野別情報教育の改善については年度末までに「各分野の情報活用能力」としてまとめる
 - ・来年度より、情報教育に関する3つの分科会を設置予定
情報リテラシーおよび倫理・情報専門家育成・情報非専門家育成（社会科学系・人文系等）
 - ・本委員会では、上記の組織に提言できるアイデアやコンセプトをまとめる。
 - ・IT/FD委員会は学士力実現のための授業設計を今後重点的に検討する。
- これらの点を踏まえ、議論を行った

2. 委員より資料に基づき、提言がなされた

- ・情報教育を、知識・理解・活用という3つの方面から検討することが必要である。
- ・大学生の情報活用能力のうち、共通となる部分と英語分野に特化した部分を分けることが大切である。
- ・いずれも社会に出て、能力が発揮できるようにすることが教育の目的となる。

3. 委員長より、2つの資料が提出され、説明が行われた

①情報技術のスキル（4技能を中心に据えたもの）

コンピュータの基本技能及び英語教育分野で必要な一般的なスキルをリテラシーとフルーエンシに仕分けて、それぞれの必要性に関して検討するための資料

②情報技術のスキル（学士力を中心に据えたもの）

私情協の英語教育分野の学士力としてまとめた各項目に基づいて、それぞれの到達目標を実現するために必要な情報技能を検討するための資料

4. 議論の結果、②の資料に基づいて、検討を行うこととなった。

- ・主な検討課題は次のとおりである
基本的に次の3つの視点で検討する（技能・活用・倫理等）
- ・とりわけ、英語教育分野では次の点に重点を置く
①英語特有のソフト活用

(データベース辞書検索・音声データ・翻訳ソフトなどを活用できる能力)

②プレゼンテーション (word・excel・power point を一体として活用できる能力)

③コミュニケーション (掲示板やメール等の活用能力)

5. 最終的には情報教育と英語教育の融合をはかって、英語のセンスを磨くことに尽きるという結論に至った。

・委員長のもとで資料②に基づき検討原案を作成し、次回の委員会で検討することとなった。

次回の委員会開催日 2月18日(木) 11:00~13:00